



くれよん もみじぐみ



寒さが強くなり、いよいよ冬本番がやってきましね。寒さに負けず、この冬を乗り越えたいですね。近頃のもみじ組さんたちは、少しずつ友だちのことを意識し始め、気になり始めました。お友だちの真似っこをして同じ遊びをしてみたり、同じ場所で遊んでみたりしています。今月はそんなお友だちとの関わり方について話をしていこうと思います。



★『どうぞ』してくれると嬉しいね♪

遊びを見守る時に、大人は子どもと向かい合って座ります。その時に、最初は大人が子どもたちにおもちゃを渡しているのを見ていて真似し、隣にいる子や近くの人に遊んでいるおもちゃを、どうぞと差し出してくれる仕草が増えてきました。最初は大人の真似から入りましたが、“ありがとう”の仕草でお辞儀をしたりと友だち同士のやり取りを楽しんでいます。



◎触れ合い

友だちに興味を持ち一緒に遊ぼうと手に触れてみたり大人の真似をし、手を高く上げハイタッチしてみたりして遊んでいます。「握手♪でバイバイ♪」の歌に合わせて手を繋いで遊んでいます。握手を覚えてくれ、友だちの手を取り握手をしている姿がとても可愛らしいです。友だちの頭に手が触れた時、「いい子いい子だね」と伝えると真似をして頭を撫でてくれる子もいます。



■自我が目覚めてきたら・・・

友だちが遊んでいる同じおもちゃで遊びたくなり、友だちのおもちゃに手が伸びてしまうことがあります。そんな時は、大人が間に入り「おもちゃ欲しかったね。棚にもおもちゃがあるよ。どのおもちゃで遊ぶ？」など気持ちに寄り添いながら、他のおもちゃを提案したりしています。



このようにクラスの友だちとのやり取りの中で少しずつ社会性を身につけていくので、成長を助けていき見守っていきたいと思っています。